

普通徴収切替申請書（兼仕切紙）

市区町村名	喜界町	指定番号	
事業者名			
符号	普通徴収切替理由	人数	
普A	総従業員数が2名以下 (下記「普B」～「普F」に該当する全ての(他市区町村分を含む)従業員数を差し引いた人数)	人	
普B	他の事業所で特別徴収をする(乙欄該当者)	人	
普C	給与が少なく税額が引けない(例:年間の給与支給額が100万円以下)	人	
普D	給与の支払が不定期(例:給与の支払が毎月でない)	人	
普E	事業専従者(個人事業主のみ対象)	人	
普F	退職者又は退職予定者(5月末日まで)及び休職者	人	
普通徴収申請者 合計人数		人	

- 普通徴収とする場合は、個人別明細書の摘要欄に該当する符号(普A、普Bなど)を記入してください。
- この普通徴収切替理由書の提出がない場合、原則どおり、特別徴収対象者となります。

【普通徴収切替理由書の記入提出要領】(作成例)

- この普通徴収切替理由書は、当面、普通徴収を認める基準(普A～普F)を示すもので、普通徴収を希望する方の内訳を報告するためのものです。
- 当面、普通徴収を認める基準に該当し、かつ普通徴収を希望する方がいる場合は、該当する理由の右側「人数」欄に、人数を記入し給与支払報告書と併せて提出してください。普A～普Fの人数は提出先市区町村の居住者ののみの人数を記入してください。
- 特別徴収に該当する方と普通徴収に該当する方がある場合は、仕切紙として普通徴収の方の個人別明細書の上に挿入し、総括表や他の個人別明細書と合冊して提出してください。
- 普Aは、総従業員数(総受給者数)から普B～普Fに該当する人数(他の市区町村を含む普通徴収該当者数)を差し引いた人数が2人以下の場合に該当となり、人数の欄には提出先の市区町村の居住者ののみの人数を記入してください。
例:総従業員数100人ー(普B～普F)に該当する他の市区町村報告人数の合計93人+普B～普Fに該当する提出先市区町村への報告人数の合計5人)=2人 そのうち、提出先市区町村の居住者1人 この場合、普通徴収切替理由書の普Aへ記入する人数は1人となります。
- 普Bは、2か所以上から給与の支払いを受けているため、年末調整の対象とならなかった方で普通徴収を希望する方が対象となります。
- eLTAX等の電子媒体で給与支払報告書を提出する場合は、該当する方の「普通徴収」欄に必ずチェックをしてください。また、該当する普通徴収切替理由の符号(普A～普F)を摘要欄にご記入願います。(※普通徴収切替理由書の添付は不要です。)

【提出時のつづり方】

個人別明細書
※特別徴収対象者分

普通徴収切替申請書

個人別明細書
※理由書に記入した普通徴収対象者分

総括表

該当する符号を必ず記入してください

退職年月日が確定している場合は、必ず記載してください

切り取って、給与支払報告書と共に必ず提出してください！

普通徴収切替理由書 記載例

※ 普通徴収切替理由書は、必ず提出してください！(普通徴収申請者が0人の場合も含む)提出が無い場合や記載がない場合は、『特別徴収扱い』となります。

※ 下記申請理由に該当する従業員の方でも、特別徴収することができる場合は、普通徴収切替理由書の内訳には加えず、特別徴収対象者として提出してください。

普通徴収切替理由書(兼仕切紙)

市区町村名	喜界町	指定番号	
事業者名			

①

符号	普通徴収切替理由	人数
普A	総従業員数が2名以下 (下記「普B」～「普F」に該当する全ての(他市区町村分を含む)従業員数を差し引いた人数)	人
普B	他の事業所で特別徴収をする(乙欄該当者)	人
普C	給与が少なく税額が引けない(例:年間の給与支給額が100万円以下)	人
普D	給与の支払が不定期(例:給与の支払が毎月でない)	人
普E	事業専従者(個人事業主のみ対象)	人
普F	退職者又は退職予定者(5月末日まで)及び休職者	人
普通徴収申請者 合計人数		人

②

普通徴収申請者 合計人数	人
--------------	---

○普通徴収とする場合は、個人別明細書の摘要欄に該当する符号(普A、普Bなど)を記入してください。

○この普通徴収切替理由書の提出がない場合、原則どおり、特別徴収対象者となります。

①「符号」「普通徴収切替理由」「人数」

申請理由に該当する従業員の方について、普通徴収申請者として提出することができます。申請理由ごとの人数を「人数」欄に記載してください。また、普通徴収申請者の給与支払報告書(個人別明細書)

②「普通徴収申請者 合計人数」

普通徴収申請者の合計人数を記載してください。

提出前に、この申請書の後ろに並べている普通徴収対象者の給与支払報告書(個人別明細書)